

パレスでのガラ

クリスタル・パレス・ガーデンパーティーにて「危機」を初披露 1972年9月2日

1972年9月2日土曜日のロンドンが快晴だった。最高気温は29℃で、太陽が燦々と輝いていた。

街の南に位置するクリスタル・パレス・パークにはクリスタル・パレス・ボウルがあった。

現在音楽ファンの間では「ガーデンパーティー」という野外コンサート会場だったことで知られる。

この日は、ジョン・ピールが司会を務め、イエス、マハヴィシュヌ・オーケストラ、リンディスファーン、ゲイリー・ライトのワンダー・ホイール、ケーパビリティ・ブラウンが登場した。

イエスはアメリカでの一連の公演で大成功を収め、凱旋帰国していた。

アメリカでは『危機』に収録された3曲のうち2曲を試演したが、

壮大なタイトル曲の披露をイギリスに戻って初の公演となるこの日まで取っておいていた。

アルバムは9月8日に店頭発売だったが、バンドのためにロジャーが作成した新ロゴは

既にバックステージのいたる所でパス、バッジ、Tシャツにでかかどあしらわれていた。

イエスのファンであるケン・フラーは、17歳の青年だった当時、会場までロンドンの赤いバスに乗ったことを思い起こす。

「素晴らしい場所でした」と彼は話す。「バンドを見に行くのにとってもいい場所で、うってつけのイベントでしたね。

晴れた夏の日なら、最高でした。その時はまだ、イエスのアルバムを1枚も持っていなかったんですよ。

イエスのことや、『イエス・サード・アルバム』、『こわれもの』については知っていたんですが、まだ持っていませんでした。

今は何十枚も持っていますよ。

アルバムは持っていませんでしたが、ライブを生で観たいと思うくらいには曲を聴いていました。

コンサート当時、ミュンヘンオリンピックが開催されていたのを覚えていますね。

クリスタル・パレス・ボウルは、BBCの電波塔のとても近くにあったんですよ。

ロンドンで最も海拔が高い場所の1つの近くでしたから。

オリンピック放送から実況中継が入ってくるので、スタッフが1日中PAと格闘していましたね」。

幸いにも、イエスの公演前にこの問題は解決された。

ケン、ジョン・アンダーソンが「危機」を覚えてたで歌詞をすべて暗記しているか不安だったため

歌詞をすべてカンペに書き出してもらったと観客に話していた、と振り返る。

彼は続ける。「誰も知っている人がいないのに、20分あまりの新曲を演奏するのは、本当にガッツがあると思いますよ。

バンドは本当によかったですよ。『シベリアン・カートゥル』から始まりましたね。もちろん、そこにいた全員にとって新曲でした。

でもとってもよくウケましたよ。（新曲は）とても支持され喜ばれていました」。

イエスはその夜、順番通りではないが、将来名曲となるまだリリースされていなかった曲をすべて演奏した。

そしてあらゆる点で、つながりを作った。

「あのギグがきっかけで、バンドにどっぷりハマったんですよ」とケン話す。

「あれが私にとって初イエスでした。その後チケットを買って、その年の12月にレインボーでライブを観ました。

その夜に『イエスソングス』を撮影したんです」。彼はそれ以来ずっとイエスのファンだ。

「当時の私は、ライブに行ったほんの17歳の子供でした。

50年後にもその話をしているなんて誰も予想しなかったでしょうね」。

- ダグラス・ゴットリーブとグレン・ゴットリーブ

イエスファン、コレクター、作家のディビット・ワトキンソンがこの歴史的コンサートの逸話や思い出を語っている

Yesworld.comへはQRコードをスキャン